

ブータン・パロの商店街に関する研究

川 窪 広 明

A Study On The Shopping Street In Paro, Bhutan

KAWAKUBO Hiroaki

1. はじめに

ブータンはインド東北部の西ベンガル州およびアッサム州とチベットに挟まれた面積46,500m²、人口約60万人^{文1)}の王国で、その鎖国政策や地勢的な入国の難しさから近年まで「秘境」と称されていた。日本人としては、1913年に多田等観がチベットに大蔵経を求めて旅する途中に立ち寄ったといわれているが、王室から正式な招待を受けて入国したのは、1958年の大阪府立大学の中尾佐助博士が最初である。中尾博士が提唱した照葉樹林文化論^{文1)}によると、日本とブータンとは照葉樹林帯の東と西に位置する関係にあり、農耕を基盤とする文化や生活習慣上の共通点も多い^{文2), 文3)}。国土の南北距離は約150kmであるが、インドに接する南部は標高100mの亜熱帯、チベットに接する北部は標高7,000m以上のヒマラヤ山岳地帯と大きく傾斜している。主な町があるのは標高2,000m前後の地帯で、比較的平坦な肥沃な土地に恵まれている。一方、東西距離は約300kmである。西部と東部は全長約530kmの道路で結ばれており、この道路に沿って西からパロ、首都・ティンブー、プナカ、ウォンディフォダン、トンサ、チャムカル、モンガル、タシガンといった町が点在する。この道路を走る自動車がブータン国内唯一の交通機関であるが、全区間が曲がりくねった山岳道路で、途中には5つの3,000mを越える峠や未舗装区間もあるため、西部のパロから東部のタシガンへは3日を要する。雨による通行止めもしばしば起こる。またインドへの陸路の出入り口として、



(図1) ブータンの町

南部にプンツォリン、サムドップ・ジョンガルという町がある（図1）。

2. 研究の目的

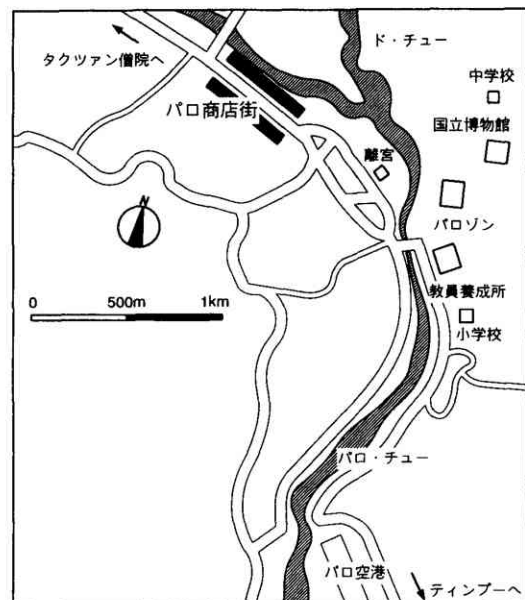
ブータンの主たる産業である農業・牧畜業は、国内総生産（GNP）の約42.8%を占め、産業人口の87.2%が農業・牧畜業に従事している^{文4)}。また主要な町は高い山と深い谷によって隔てられているため、国民の多くは伝統的に自給自足を生活の基本としてきた。そのため貨幣制度が制定されたのも1959年^{文5)}のことであり、商業活動もチベットとの交易^{注2)}や定期的に開かれる市において物々交換で行われてきた。しかしチベットとの交易が不可能となり、また1962年に全国民を徴募して完成させたというプンツォリンーティンムー間の道路が完成してからはインドとの交易が中心となり、さまざまな物資がこの道路を通して国内に流れ込むようになった。さらに1950年代に亡命したチベット人がしだいに定着し、その商才を生かして商業を営むようになったこともあり、各地に商店街が誕生した。

ブータンは、国の政策としてゆっくりとした近代化を図っているといわれているが、ここ数年、首都ティンムーを中心に都市部への人口流入、自動車の急激な増加といったアジアの開発途上国と同様な現象が起きていることも事実である。また情報分野も都市部においては、昨年から開始されたテレビ放送によって海外の最新情報が大量にもたらされるようになった。このような社会の変化の中で、自給自足を基本にしてきたブータン人の生活にも消費文化が徐々に浸透してきている。本研究では、ブータン人の消費生活の拠点となる商店街の分析を目的として、1999年と2000年にブータン西部の町、パロの商店街を対象とした調査を行った。

3. 結果

3-1 パロについて

パロは、パロ・チュー（パロ川）に沿って発達した谷間の町であり、稲作を中心としたブータン随一の農業地帯である。またブータン唯一の空港があり、1983年にドゥルック・エア（ロイヤルブータン航空）が就航して以来、「海外に対するブータンの表玄関」として、年間6,000人ほどの外国人観光客が訪れている。今回調査を行ったパロの商店街は、空港から3kmほど離れたパロ・チューの南側に約350mに渡っ



（図2）パロ商店街の配置

て形成されており、パロの中心街としてにぎわいをみせている（図2）。元来、この場所

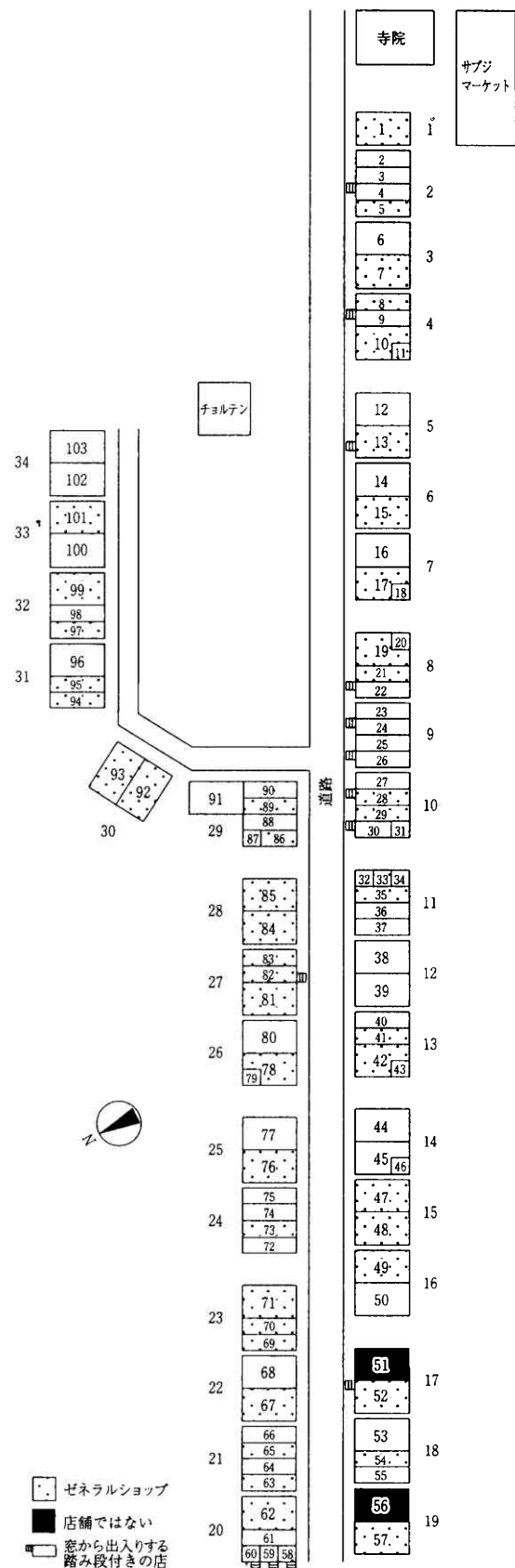
には露店から発展した小さな店舗が立ち並んでいた^{注3)}が、現在の商店街は1986年の火災でこれらの店舗が焼失した後に計画されたものである。商店街の東側の入口には、道路の北側にチョルテン^{注4)}、南側に寺院が建立されている。商店は舗装された道路の南北両側に並んでいるが、チョルテンの西側には約100mに渡って空地があり、この部分だけは道路から空地进行を挟んで商店が並んでいる。また商店街の南側の裏手には、サブジマーケット^{注5)}と民家がある。なおパロ商店街の1999年の調査は10月20日と22日、2000年の調査は10月20日に行った。

3-2 商店街の構成

図3に1999年の商店街の店舗配置を示す。各建物および1階店舗は、分析を容易にするため、まず道路南側の東から西に向かって、次に道路北側の西から東に向かって、順次、建物番号および店舗番号を付与した。

1999年の調査では、パロの商店街には34棟の商店建築が並び、これらの1階には101店舗が入居していた。店舗として使用されていないものは、建物17の店舗51、建物19の店舗56（共に工事中）であった。

商店建築の多くは、民家同様1階が版築工法による土壁造り、2階が木造の真壁造りというブータンの伝統的建築^{注6)}で同じ大きさである。建物の1階店舗部分は、道路に面して2カ所の出入口と火灯窓に似た12個の窓を持つ左右対称なファサードとなっており（写真1）、1棟の建物は半分ず



(図3) 1999年のパロ商店街の店舗配置



(写真1) パロ商店街の商店建築



(写真2) 建物の半分が鉄筋コンクリート造に
改築された建物



(写真3) 商店の窓越しに店内をのぞく買い物客。
ブータンの買い物スタイルである。



(写真4) 窓に踏み台を置いて、窓越しに店に
出入りする。

つ所有者が異なる。また2階は住宅となっている建物が多いが、店舗や事務所として使用されているものもある。ただし建物1は他の建物より小さく、1カ所の出入口と、左右4個ずつ計8個の窓があり、また建物29は他の建物より大きく、南面に1カ所の出入口と、左右10個ずつ計20個の窓、さらに東面に2カ所の出入口と12個の窓がある。ショーウィンドウを持つ商店は無く、店のアイデンティティを示すものは、出入口上部に掲げられた店名や商品名の書かれた看板のみである。

34棟の建物のうち11棟（建物5, 9, 10, 12, 14, 15, 17, 19, 29, 31, 33）は3階を有しており、建物12と29は建物全体が、他は半分が3階建てとなっている。また6棟（建物3, 9, 10, 14, 17, 19）は建物の半分が鉄筋コンクリート造（写真2）あるいはレンガ造（建物10は、2階のみが鉄筋コンクリート造）、1棟（建物34）は建物全体がレンガ造である。これらの建物は、建物34を除き、伝統的な2階建て建築として造られた建物を増築したり、改築したものと考えられる。

建物の軒や窓枠などの木造部分には、ブータン建築に特長的な極彩色のペイントがびっしりと施されている。鉄筋コンクリート造やレンガ造の建物でも、窓は木製の窓枠が使用

されており、軒部分にはコンクリートによって木造建築を模した造作がなされ、同様なペイントが施されている。しかしプータン農家の壁面によく見られる「魔よけ」の吉祥紋やドルジなどのペイントは見られず、わずかに建物24の左半分の2階壁面にガルダが描かれているのみである。同じように軒下にポー^{注7)}が吊り下げられている建物は一軒もないが、ほとんどの建物の屋根にダルシン^{注8)}が立てられており、出入口にヤクの頭蓋骨^{注9)}が飾られている店舗も数店ある。

建物同士は約3mの間隔で、屋根の妻側が接するように建てられているが、数棟毎に幅約10mの空地によって建物の並びが隔てられている箇所がある。この空地は、特に広場として整備されているわけではなく、過去の火災の経験から火災発生時に延焼を防ぐ目的で計画されたものと考えられる。また道路南側の空地は、背後の住宅への通路としても利用されている。

各商店の前には、歩道との間に1段上がった幅2mほどのテラスが設けられている。多くの店の窓にはガラスが無く、解放された状態であるため、人々がこのテラスに上って窓越しに店内の様子を眺めたり、店の売り子相手に会話を楽しむ光景をよく見かける（写真3）。窓は高さ930mmの腰高に取り付けられており、窓の下部に肘を乗せて店の内部をのぞき込むのにちょうど良い高さである。またここにベンチを置いてある店もあり、人々が座って話に花を咲かせている。さらに近くの小学校の下校時には、児童達が買い食いをしたり、鞆を商店の前に置いたまま遊びに興じたりしている。このようにパロの商店街は、「商業活動の場」としての機能以外に「人々の集いの場」としての機能も持ち合わせており、店の前のテラスはそのための装置として重要な役割を果たしていると考えられる。

3-3 商店の規模

調査したパロ商店街全店の店名、規模、種類を表1に示す。なお店名については、店の出入り口上部に掲げられた看板^{注10)}に書かれているものであり、看板がないものについては【看板なし】とした。

全商店101店のうち87店は道路に面しているが、建物の間の空地に面しているものが13店（店舗11, 18, 20, 31, 33, 34, 43, 46, 58, 59, 60, 79, 87）、外部階段の下に作られているものが1店（店舗46）ある。また道路に面している商店には、大きさが違う建物1と建物29に入っている店舗を除くと建物の1/2を使用しているもの（1/2サイズ）が40店と、1/4を使用しているもの（1/4サイズ）が41店ある^{注11)}。さらに1/4サイズのものには、2つの商店が1つの入り口を共用しているものと、1店が入り口を占有し、他店は踏み台を置いて窓から出入りするもの（店舗4, 9, 22, 24, 26, 28, 30, 82）（写真4）とがある。また1/2サイズの店にも踏み台が設置されているもの（店舗13, 52）がある。空地に面する商店の規模は、道路に面する1/4サイズのものとほぼ同じであり、

(表1) 1999年のパロ商店街全店舗

建物	店	看板に書かれた店名	間口	店の種類
1	1	【看板なし】	1	ゼネラルショップ
2	2	devimaya panshop	1/4	パンショップ
2	3	Rigden Restaurant SOUTH END BAR	1/4	食堂
2	4	【看板なし】	1/4	パンショップ
2	5	CO. GENERAL STORE	1/4	ゼネラルショップ
3	6	SHOPPING COMPLEX	1/2	ショッピングコンプレックス
3	7	M/s INDO GENERAL SHOP	1/2	ゼネラルショップ
4	8	KARMA GENERAL STORES	1/4	ゼネラルショップ
4	9	BHUTAN HAIR CUTTING Salon	1/4	床屋
4	10	NORBU TSHERING GENERAL STORE & BAR	1/2	ゼネラルショップ、食堂
4	11	TSEHWANG LAN GENERAL SHOP	空地	ゼネラルショップ
5	12	CHUKKI HOTEL FOOD, LODGE & BAR	1/2	食堂、ホテル
5	13	M/S DENKA GENERAL SHOP	1/2	ゼネラルショップ
6	14	TeTe Automobiles	1/2	カー用品店
6	15	SONAM TASHI TSHONGKHANG	1/2	ゼネラルショップ
7	16	HANDCRAFTS EMPORIUM	1/2	みやげ物店
7	17	SHERAB WANGCHUK TSHONGKHANG	1/2	ゼネラルショップ
7	18	TANDIN Video Cassetta	空地	貸しビデオ屋
8	19	LIBERTY	1/2	ゼネラルショップ
8	20	savitri panshop	空地	パンショップ
8	21	DEKI DEM General Shop	1/4	ゼネラルショップ
8	22	DORJI MEAT SHOP	1/4	肉屋
9	23	RIWAN RESTRANT & BAR	1/4	食堂
9	24	KRISHNA TSHONGKHANG	1/4	パンショップ
9	25	HOTEL YEGYEL	1/4	食堂
9	26	TS ELECTRONICS	1/4	電気器具店
10	27	NORBU HOTEL	1/4	食堂
10	28	METHOPAYMA General Shop	1/4	ゼネラルショップ
10	29	TSHERING BHIDHA TSHONGKHANG	1/4	ゼネラルショップ
10	30	SALON	1/4	床屋
10	31	PARO MEAT SHOP	空地	肉屋
11	32	New Archery Shop	1/4	アーチェリー用品店
11	33	Niduzom General Shop	空地	ゼネラルショップ
11	34	BAHGI RAM SHOE Maker Shop	空地	靴屋
11	35	Neduzom Tsongkhong	1/4	ゼネラルショップ
11	36	【看板なし】	1/4	パンショップ
11	37	DENDUP PHOTO SHOTS, PHONE CALL	1/4	写真、電話屋
12	38	YANGZOM HOTEL FOODING & LODG.	1/2	食堂、ホテル
12	39	DUCKAY TAILOR SHOP	1/2	仕立屋
13	40	KAY DEE Vdo K-sots & Foto Land	1/4	写真屋
13	41	PHULHAMO TSHONGKHANG	1/4	ゼネラルショップ
13	42	NAMGAY GENERAL STORE	1/2	ゼネラルショップ
13	43	CHIMI MEAT SHOP	空地	肉屋
14	44	TASHI HOTEL	1/2	食堂、ホテル
14	45	【看板なし】	1/2	洋品店
14	46	【看板なし】	階段下	パンショップ
15	47	UGYEN T/KHANG	1/2	ゼネラルショップ
15	48	DAGO BAR & TSHONGKHANG	1/2	ゼネラルショップ、食堂
16	49	FOOD CORPORATION OF BHUTAN FAIR PRICE SHOP	1/2	ゼネラルショップ
16	50	DRUK VARIETY HANDCRAFT GIFT SHOP	1/2	みやげ物店
17	51	【工事中】	1/2	
17	52	BENEZ ELECTRONIC REPAIR INSTALL	1/2	ゼネラルショップ
18	53	LICUOR WHOLESALER	1/2	酒屋
18	54	JACKHUNG MILK BAKERY	1/4	パン屋
18	55	【看板なし】	1/4	ゼネラルショップ
19	56	【工事中】	1/2	
19	57	KARMA TSHONGKHANG GENERAL STORES	1/2	ゼネラルショップ
20	58	JEWAN GENERAL SHOP	1/4	ゼネラルショップ
20	59	Jeevan Jewellery	空地	黄金店
20	60	KINZANG THINLEY	空地	仕立屋
20	61	SNOWVIEW RESTAURANT & BAR	1/4	食堂
20	62	TSHERING TSHONGKHANG	1/2	ゼネラルショップ
21	63	SAVITRI General Shop	1/4	ゼネラルショップ
21	64	【看板なし】	1/4	パンショップ
21	65	MEENA GENERAL SHOP	1/4	ゼネラルショップ
21	66	PEL ZOM ENTERPRISES	1/4	貸しビデオ、本屋
22	67	HIMALAYA GENERAL STORE	1/2	ゼネラルショップ
22	68	P. M. ELECTRONICS	1/2	電気器具店
23	69	【看板なし】	1/4	ゼネラルショップ
23	70	CHODEN TSHONGKHANG GENERAL STORES	1/4	ゼネラルショップ
23	71	Pema Tshongkhong	1/2	ゼネラルショップ
24	72	TSEHWANG TSHONGKHANG (美配はノンカ)	1/4	仕立屋
24	73	HEMA DEVI GENERAL SHOP	1/4	ゼネラルショップ
24	74	NAMGYAL'S CORNER	1/4	みやげ物店
24	75	【看板なし】	1/4	食堂
25	76	PARO CANTEN	1/2	ゼネラルショップ
25	77	BANK of BHUTAN	1/2	銀行
26	78	LEKI DORJI GENERAL STORE	1/2	ゼネラルショップ
26	79	PARO ELECTRONIC	空地	電気器具店
26	80	LOTAY HANDICRAFTS SHOP	1/2	みやげ物店
27	81	PEMA DORJI SHOP	1/2	ゼネラルショップ
27	82	【看板なし】	1/4	ゼネラルショップ
27	83	K. K. TSHONGKHANG	1/4	ゼネラルショップ
28	84	KINLEY DORJI GENERAL STORE	1/2	ゼネラルショップ
28	85	GANGRINDUP TSHONGKHANG	1/2	ゼネラルショップ
29	86	Kailas General Shop	1/4	ゼネラルショップ
29	87	STD/ISD METASCAN	空地	電話屋
29	88	DRUK HANDICRAFT GIFT CENTER	1/4	みやげ物店
29	89	PHUENSOOM TSHONGKHANG	1/4	ゼネラルショップ
29	90	CHENCHO RURAL HANDICRAFT	1/2	みやげ物店
29	91	HIMALAYA HOTEL	1/2	食堂
30	92	JATTOMI GENERAL STORE	1/2	ゼネラルショップ
30	93	DAGO TSHERING SHOP	1/2	ゼネラルショップ
31	94	ATHAY GENERAL SHOP	1/4	ゼネラルショップ
31	95	SHREBJANA GENERAL SHOP	1/4	ゼネラルショップ
31	96	WELCOME HOTEL	1/2	食堂
32	97	PEMDORJEE MEDICAL STORE GENERAL STORE	1/4	ゼネラルショップ
32	98	DRACTSE SOFT DRINKS	1/4	コーラ屋
32	99	FOOD CORPORATION OF BHUTAN FAIR PRICE SHOP	1/2	ゼネラルショップ
33	100	Hotel Peljorling & GARDEN CAFE	1/2	食堂、ホテル
33	101	BHUTAN DEKHANG STORES	1/2	ゼネラルショップ
34	102	郵便局	1/2	郵便局
34	103	ZAMLING HOTEL	1/2	食堂、ホテル

階段下の店舗46は間口150cm程度の「売店」である。なお、商店街西端の建物20に入居している店舗58は道路に面しているが、西側の空地側に踏み台が設置されている。また空地に面している店舗59, 60にも踏み台が設置されていて、窓から出入りするようになっている。

3-4 商店の種類

1999年の調査結果に基づき、パロ商店街を構成する商店の種類を下記のよう分類した。

(1) ゼネラルショップ

商店街のすべての店は、Ministry of Trade and Industryという政府機関から許可を得て営業しており、商店の種類も許可証に明記されている。パロの商店街の特徴は、ゼネラルショップあるいはゼネラルストアと呼ばれる「よろず屋」が非常に多いことである。全商店のうち約半数に当たる48店がゼネラルショップであった。ゼネラルショップの規模は、1/2サイズのものが最も多く24店、1/4サイズのものが21店、1/1サイズのものが1店、空地に面しているものが2店となっている。ゼネラルショップで扱っている商品は、米、豆などの米穀、缶詰、調味料、干し魚などの食料品、歯磨き粉、石鹸、洗剤、食器などの日用品、たばこ、ドマなどの嗜好品、種子、菓子類、玩具、野菜、衣類、靴、金具、仏具など多岐にわたっている。

各店によって商品の種類や量は異なり、同じ店でも商品の種類は変動するとのことであるが、日用品はほとんどの店で扱っている。そのうち米穀を扱っている店は、49店のゼネラルショップ中11店（店舗1, 15, 42, 49, 57, 62, 76, 92, 93, 99, 101）あるが、すべてが建物の1/2サイズまたは1/1サイズであり、取り扱っている品の種類や量も豊富である。一方、空き地に面したゼネラルショップ2店（店舗11, 33）は、取り扱う商品の種類、商品の量ともに非常に少ない。また食堂を兼ねたゼネラルショップが2店（店舗10, 48）、看板には電気店（ELECTRONIC）とあるが、電気製品の他に日用品や衣料も販売しており、実質的にはゼネラルショップである店も1店（店舗52）ある。

このように多くのゼネラルショップが同じ商店街で営業を続けられるのは、各店毎に固定客がいるからと言われている。ブータンでは、町から遠く離れ、かつ稲作ができない山中に居住している人も多く、定期的に町まで食料や日用品を買い出しに出かける。交通網が整備されていないので、買い出しのために馬やポニーのキャラバンを組み、片道に2、3日をはかることも珍しくないという。そのような人にとって、なじみの店でいろいろな品をまとめ買いすることには、価格面でのディスカウントや現金収入が得られるまで「ツケ」で買い物ができるといったメリットがある。パロ近郊は豊かな農業地帯であり、パロの住民は穀物や野菜を自給自足できるため、米穀を扱うゼネラルショップは、このような山岳地帯在住の人や給与所得者を固定客に持つ店であると考えられる。

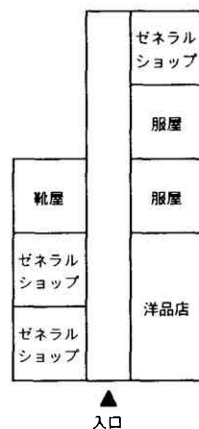
（2）ショッピングコンプレックス

ショッピングコンプレックスとは、内部通路に面して複数の店舗が入居した商業施設のことである。店舗6は1カ所の入り口を持った1/2サイズの店であるが、内部は幅1mの廊下を挟んで間口3m程度の7つの小店舗に細分されている（図4、写真5）。各店舗には商品をストックするための倉庫はなく、扱っている商品数、商品量共に非常に少ない。各商店は看板を持たず、建物の外部に

SHOPPING COMPLEXと表示された看板が掛けられている。

7つの小店舗の内訳は、菓子や日用品を扱うゼネラルショップが3店、衣類を中心とした店が2店、靴屋が1

店、洋品店が1店である（図4）ショッピングコンプレックス（店舗6）の内部



（写真5）ショッピングコンプレックスの内部。間口の小さな店が廊下に面して並ぶ。

る。ただし、衣類を中心とした店2店と靴屋でも日用品を販売しており、ゼネラルショップの要素を持っている。

(3) 食堂、ホテル

食堂は全商店のうち13店で、ゼネラルショップの次に多い。また建物の1階ばかりではなく、2階にも5店ある(店舗6と7, 23と24, 45, 56, 77の2階部分)。ただし1階には1/4サイズのもので6店あるのに対し、2階の食堂はすべて1/2サイズである。1階の食堂はブータン人を対象としたものであるが、2階の食堂は外国人観光客を対象としており、バイキングスタイルの食事も供す。ホテルは6軒あり、すべて2階あるいは3階に設けられている。これらのホテルにはすべて食堂が併設されているが、逆にHOTELと看板を掲げていても、食堂のみで宿泊機能を持たないものもある。またパロ商店街のホテルは、すべてブータン人を対象としたもので、外国人観光客用のホテルではない。

(4) パンショップ

パロの商店街には、日本のたばこ屋に相当するパンショップ^{注12)}と呼ばれる店が、外部階段下の店舗48を含めて7店ある。パンショップは、ドマやばら売りのたばこ、袋菓子など安価な商品のみを扱っており、店の規模はすべて1/4サイズ以下である。パンショップにはドマの入ったガラスケースが正面に置かれ、駄菓子の入ったビンや袋菓子などが店内に所狭しと並べられている(写真6)。店内に売場スペースはなく、客は売り子と窓を通して金品のやり取りを行う。これらのパンショップの特長から、「ゼネラルショップ」と看板を掲げている店でもパンショップに近いものも2店(店舗61, 66)ある。



(写真6) パンショップの店先。中央のガラスケースにドマが入れている。

(5) 専門店など

他の店の内訳は、みやげ物店6店、電気器具店3店、レンタルビデオ屋3店、肉屋3店、床屋2店、仕立屋2店、写真屋、靴屋、洋服店、洋品店、パン屋、酒屋、カー用品店、電話屋、アーチェリー用品店、宝石店、コーラ卸店、銀行、郵便局が1店ずつである。

1) みやげ物店

外国人観光客相手に工芸品を販売しており、クレジットカードが使用可能な店もある。

ただし店の規模は、他の商店同様1/2サイズあるいは1/4サイズであり、ティンプーにある国営のハンディクラフトセンターと比較すると非常に小さく、国際空港がある町の商店街としては、数も少ないように思われる。

2) 電気器具店

3店共に電気製品の小売りより、修理を中心に行う店である。店先に置かれていた電気製品は、オーディオ機器、電気釜、照明器具といった小型のものが多く、冷蔵庫や洗濯機といった大型家電製品は置かれていない。

3) レンタルビデオ屋

インド製の映画のビデオが中心である。ただし空地に面しているものが2店、1/4サイズで本屋を兼ねているものが1店と規模は小さい。

4) 肉屋

肉屋は3店のうち2店が空き地に面しており、店先の台の上に直接、肉や魚を並べて売っている(写真7)。肉屋が表通りではなく、路地などを入ったところにあるのはティンプーでも同様である。ブータンでは、肉屋は夕刻のみ営業するため、表通りに面する場所に比べて店賃の安い奥まった場所に店を構えるとのことである。



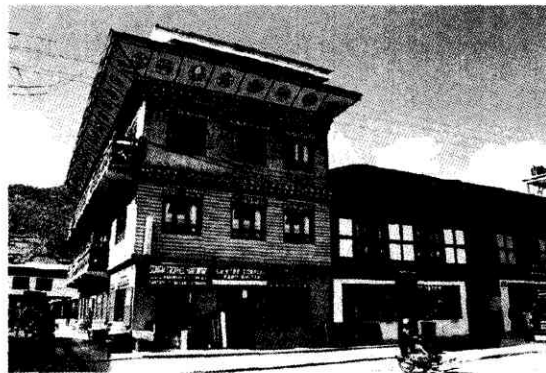
(写真7) 肉屋は夕方から営業を始める。店先には、野良犬がそれとなく集まってくる。

5) 電話屋

ブータンには、公衆電話が無く、これに代わるものとして電話屋という商売がある。店内に料金メーターを備えた電話やFAXがあり、利用者は通話終了後、計算された料金を支払う。国際電話も可能である。

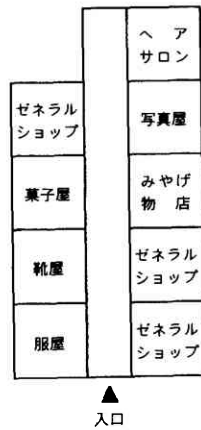
3-5 1年間の変化

2000年の調査では、建物数は34棟と変わらなかったが、1階の店舗数は108と前年に比べ数字の上では7店舗増加していた。また前年の調査では工事中であった建物17、19および建物10の2階部分の工事は終了しており、共に鉄筋コンクリート造の建物が完成し



(写真8) 従来の建物の半分が4階建て鉄筋コンクリート造に改築された(建物番号17)。

ていた。特に建物17は4階建てであり、1階が店舗、2階が外国人旅行者向けのレストラン、3階と4階が賃貸アパートとなっている(写真8)。さらに建物19の西側には、新たな鉄筋コンクリート造の建物が建築中である。

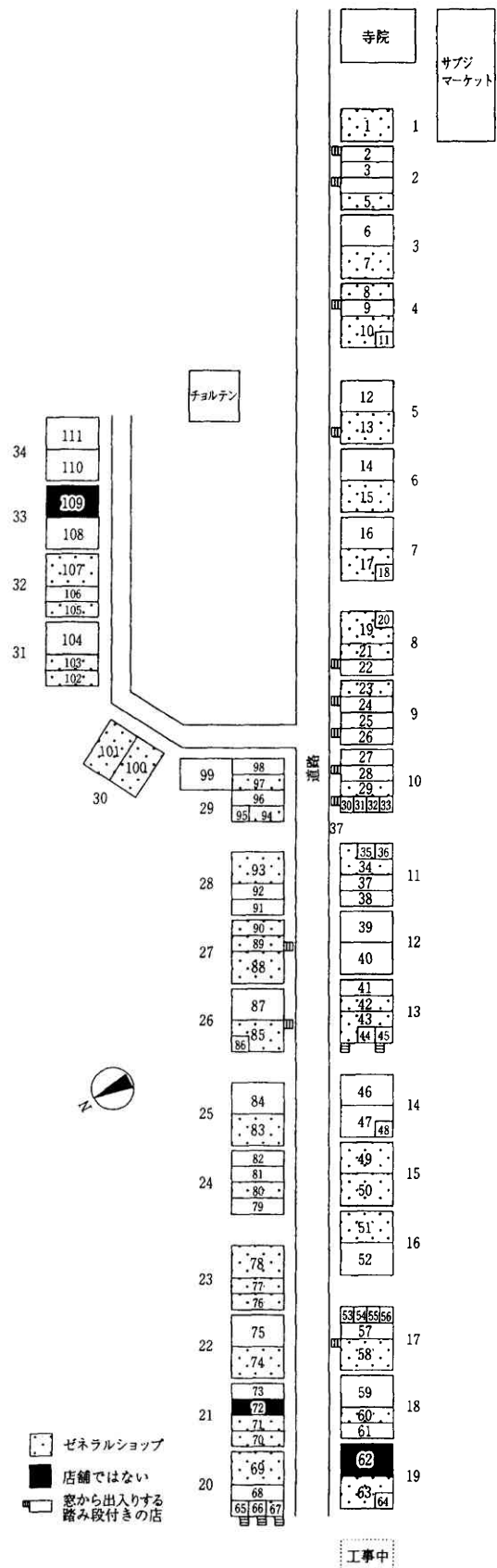


(図6) ショッピングコンプレックス (店舗47) の内部

2000年の店舗配置を図5に示す。2000年の調査結果についても1999年の調査結果と同じ方法で番号を付与したため、建物番号は1999年のものと変わらないが、店舗数の増加により同じ店でも店舗番号は異なっているものがある。

また2000年の調査における全店の店名、規模、種類を表2に示す。1999年から2000年までの1年間の変化として、1階の店舗については16店舗が入れ替わるか廃業しており、8店が新規に開店した。さらに建物の2階には、5店が新規に開店した(表3)。なお建物19の店舗56は用途不明、建物21の店舗68、建物33の店舗105は共に空店舗である。また建物11のアーチェリー用品店(1999年の店舗32)の場所には、隣接したゼネラルショップが入り、その規模を1/4から1/2へと広げている。一方、建物28のゼネラルショップ(1999年の店舗84)は、規模が1/4のみやげ物店と仕立屋に2分割されている。

ショッピングコンプレックスは2軒が新規に開店したが、建物14の店舗47は店舗6



(図5) 2000年のパロ商店街の店舗配置

(表2) 2000年のパロ商店街全店舗

建物	店	看板に書かれた店名	間口	店の種類
1	1	DRUGYEL GENERAL STORE	1	ゼネラルショップ
2	2	devimaya panshop	1/4	パンショップ
2	3	Rigden Restaurant SOUTH END BAR	1/4	食堂
2	4	[看板なし]	1/4	パンショップ
2	5	CO. GENERAL STORE	1/4	ゼネラルショップ
3	6	SHOPPING COMPLEX	1/2	ショッピングコンプレックス
3	7	M/S INDU GENERAL SHOP	1/2	ゼネラルショップ
4	8	KARMA GENERAL STORES	1/4	ゼネラルショップ
4	9	BHUTAN HAIR CUTTING Salon	1/4	床屋
4	10	NORBU TSHERING GENERAL STORE & BAR	1/2	ゼネラルショップ、食堂
4	11	TSEWANG LAN GENERAL SHOP	1/2	ゼネラルショップ
5	12	CHUKKI HOTEL FOOD, LODGE & BAR	1/2	食堂、ホテル
5	13	M/S DENKA GENERAL SHOP	1/2	ゼネラルショップ
6	14	TeTe Automobiles	1/2	カー用品店
6	15	SONAM TASHI TSHONGKHANG	1/2	ゼネラルショップ
7	16	HANDCRAFTS EMPORIUM	1/2	みやげ物店
7	17	SHERAB WANGCHUK TSHONGKHANG	1/2	ゼネラルショップ
7	18	TANDIN Video Cassettes	1/2	貸しビデオ屋
8	19	LIBERTY	1/2	ゼネラルショップ
8	20	S. B. SUBBA MEAT SHOP	1/4	肉屋
8	21	DEKI DEM General Shop	1/4	ゼネラルショップ
8	22	P. K. MEAT SHOP	1/4	肉屋
9	23	[看板なし]	1/4	ゼネラルショップ
9	24	KRISHNA TSHONGKHANG	1/4	パンショップ
9	25	HOTEL YEGYEL	1/4	食堂
9	26	TS ELECTRONICS	1/4	電気器具店
10	27	NORBU HOTEL	1/4	食堂
10	28	CHIMI MEAT SHOP	1/4	肉屋
10	29	TSHERING BHIDHA TSHONGKHANG	1/4	ゼネラルショップ
10	30	SALON	1/4	床屋
10	31	[看板なし]	空地	修繕店
10	32	[看板なし]	空地	仕立屋
10	33	PARO MEAT SHOP	1/2	肉屋
11	34	Neduzom Tshongkhag	1/2	ゼネラルショップ
11	35	Neduzom General Shop	1/2	ゼネラルショップ
11	36	BAHGI RAM SHOE Maker Shop	1/4	靴屋
11	37	[看板なし]	1/4	パンショップ
11	38	DENDUP PHOTO SHOTS, PHONE CALL	1/4	写真、電話屋
12	39	YANGZOM HOTEL FOODING & LODG.	1/2	食堂、ホテル
12	40	DUCKAY TAILOR SHOP	1/2	仕立屋
13	41	KAY DEE QUICK SERVICE COLOUR LAB	1/4	写真屋
13	42	PHUHLHAMO TSHONGKHANG	1/4	ゼネラルショップ
13	43	NAMGAY GENERAL STORE	1/2	ゼネラルショップ
13	44	[看板なし]	空地	ゼネラルショップ
13	45	PAMPHA MEAT SHOP	1/2	肉屋
14	46	TASHI HOTEL	1/2	食堂、ホテル
14	47	SHOPPING COMPLEX	1/2	ショッピングコンプレックス
14	48	[看板なし]	階段下	パンショップ
15	49	UGYEN T/KHANG	1/2	ゼネラルショップ
15	50	DAGO BAR & TSHONGKHANG	1/2	ゼネラルショップ、食堂
16	51	FOOD CORPORATION OF BHUTAN FAIR PRICE SHOP	1/2	ゼネラルショップ
16	52	LOTZY TSHONGKHANG GENERAL STORES	1/2	ゼネラルショップ
17	53	SONAM TROPHEL HARD WARE	1/4	機械部品店
17	54	MELAMINE CROCKERY SHOW ROOM	空地	陶器店
17	55	[看板なし]	空地	パンショップ
17	56	DRUK HAIR CUTTING SALOON	空地	床屋
17	57	CENTRE COMPLEX	1/4	ショッピングコンプレックス
17	58	BENEZ ELECTRONIC REPAIR INSTALL	1/2	ゼネラルショップ
18	59	LIQUOR WHOLESALER	1/2	酒屋
18	60	JACHUNG MILK BAKERY	1/4	パン屋
18	61	[看板なし]	1/4	ゼネラルショップ
19	62	[空]	1/2	
19	63	KARMA TSHONGKHANG GENERAL STORES	1/2	ゼネラルショップ
19	64	KINKEY RESTAURANT	空地	食堂
20	65	JEWAN GENERAL SHOP	1/4	ゼネラルショップ
20	66	Jeewan Jewellery	空地	金店
20	67	KINZANG THINLEY	空地	貸しビデオ屋
20	68	SNOWVIEW RESTAURANT & BAR	1/4	食堂
20	69	TSHERING TSHONGKHANG	1/2	ゼネラルショップ
21	70	Phul Maya General Shop	1/4	ゼネラルショップ
21	71	Lachi Maya General Shop	1/4	ゼネラルショップ
21	72	[空]	1/4	
21	73	PEL ZOM ENTERPRISES	1/4	貸しビデオ、本屋
22	74	HIMALAYA GENERAL STORE	1/2	ゼネラルショップ
22	75	P. M. ELECTRONICS	1/2	電気器具店
23	76	[看板なし]	1/4	ゼネラルショップ
23	77	CHODEN TSHONGKHANG GENERAL STORES	1/4	ゼネラルショップ
23	78	PEMA TSHONGKHANG	1/2	ゼネラルショップ
24	79	TSEWANG TSHONGKHANG [ゾンカ]	1/4	仕立屋
24	80	HEMA DEVI GENERAL SHOP	1/4	ゼネラルショップ
24	81	NAMGYAL'S CORNER	1/4	みやげ物店
24	82	JACHUNG RESTAURANT	1/4	食堂
25	83	PARO CANTEN	1/2	ゼネラルショップ
25	84	BANK of BHUTAN	1/2	銀行
26	85	LEKI DORJI GENERAL STORE	1/2	ゼネラルショップ
26	86	PARO ELECTRONIC	空地	電気器具店
26	87	LOTAY HANDICRAFTS SHOP	1/2	みやげ物店
27	88	PEMA DORJI SHOP	1/2	ゼネラルショップ
27	89	[看板なし]	1/4	ゼネラルショップ
27	90	K. K. TSHONGKHANG	1/4	ゼネラルショップ
28	91	DRUK HANDICRAFT GIFT CENTER	1/4	みやげ物店
28	92	UGEN WANGCHUK'S TAILOR SHOP	1/4	仕立屋
28	93	GANGRINDUP TSHONGKHANG	1/2	ゼネラルショップ
29	94	Kailas General Shop	1/4	ゼネラルショップ
29	95	M/s SITA COMMUNICATION	空地	電話屋
29	96	PHUENSOOM TSHONGKHANG	1/4	ゼネラルショップ
29	97	[看板なし]	1/4	仕立屋
29	98	CHENCHO RURAL HANDICRAFT	1/2	みやげ物店
29	99	HIMALAYA HOTEL	1/2	食堂
30	100	JATTOMI GENERAL STORE	1/2	ゼネラルショップ
30	101	DAGO TSHERING SHOP	1/2	ゼネラルショップ
31	102	ATHAY GENERAL SHOP	1/4	ゼネラルショップ
31	103	SHREJANA GENERAL SHOP	1/4	ゼネラルショップ
31	104	WELCOME HOTEL	1/2	食堂
32	105	PEM DORJEE MEDICAL STORE GENERAL STORE	1/4	ゼネラルショップ
32	106	DRAGTSE SOFT DRINKS	1/4	コーラ屋
32	107	FOOD CORPORATION OF BHUTAN FAIR PRICE SHOP	1/2	ゼネラルショップ
33	108	Hotel Peljoring & GARDEN CAFE	1/2	食堂、ホテル
33	109	[空]	1/2	
34	110	郵便局	1/2	郵便局
34	111	ZAMLING HOTEL	1/2	食堂、ホテル

同様規模が1/2であり、内部の廊下を挟んで両側に9店の小規模な店舗が入居している(図6)。一方、建物17の店舗57は規模が1/4であるが、調査当日は閉鎖されていたため内部の店舗構成は不明である。

さらに新しい種類の店舗として、1999年には1軒もなかったヘアサロン(パーマ屋)が3軒開店していた(建物6および建物14の2階と店舗47のショッピングコンプレックスの中)。従来ブータンの女性は、髪を短髪(いわゆる「ザン切り」)にしていたが、近年は長髪が流行している。したがってこれらのヘアサロンは、このような流行のニーズに合わせたものといえる。また、建物10の2階に開店したコンピュータショップは、「インターネットカフェ」として外国人旅行者に利用されている。

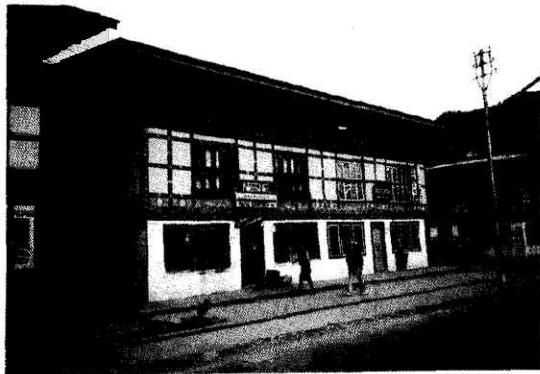
3-6 ゼネラルショップの調査

2000年の調査では、店舗番号79(2000年の建物番号25、写真9)のゼネラルショップの主人にインタビューするとともに建物の間取りを調査した。インタビューの結果をまとめたものが表4である。

本店舗は木造2階建ての1/2サイズで、隣には銀行が入っている。建物は版築工法で建てられたオリジナルの状態を保っており、改装はされていない。図7に平面図を示す。建物の1階床面積は約114m²、2階床面積は約123

(表3) 1999年から2000年のパロ商店街の変化

建物	1999年				2000年			
	店舗	店名	間口	店の種類	店舗	店名	間口	店の種類
3		[なし]				WANGDI YANGCHAP CEMENT AGENT Auth: by P. C. A. L	2階	オフィス
6		[なし]				SiLing Salon	2階	ヘアサロン
8	20	savitri panshop	空地	パンショッブ	20	S. B. SUBBA MEAT SHOP	空地	肉屋
	22	DORJI MEAT SHOP	1/4	肉屋	22	P. K. MEAT SHOP	空地	肉屋
9	23	RIWAN RESTRANT & BAR	1/4	食堂	23	[看板なし]	1/4	ゼネラルショッブ
10	24	METHOPAYMA General Shop	1/4	ゼネラルショッブ	28	CHIMI MEAT SHOP	1/4	肉屋
		[なし]			31	[看板なし]	空地	機械修理店
		[なし]			32	[看板なし]	空地	仕立屋
		[なし]				IT. DOT SYSTEM COMPUTER CENTER	2階	コンピュータショッブ
11	32	New Archery Shop	1/4	アーチェリー用品店	34	Neduzom Tsongkhag	1/2	ゼネラルショッブ
13		[なし]			44	[看板なし]	空地	ゼネラルショッブ
	43	CHIMI MEAT SHOP	空地	肉屋	45	PAMPHA MEAT SHOP	空地	肉屋
14	44	[看板なし]	1/2	洋品店	47	SHOPPING COMPLEX	1/2	
		[なし]				Oasis Saloon	2階	ヘアサロン
16	50	DRUK VARIETY HANDCRAFT GIFT SHOP	1/2	みやげ物店	52	LOTEY TSHONGKHANG GENERAL STORES	1/2	ゼネラルショッブ
17	51	[工事中]			53	SONAM TROPHEL HARD WARE	1/4	機械部品店
		[工事中]			54	MELAMINE CROCKERY SHOW ROOM	空地	陶器店
		[工事中]			55	[看板なし]	空地	パンショッブ
		[工事中]			56	DRUK HAIR CUTTING SALOON	空地	床屋
		[工事中]			53	SHOPPING COMPLEX	1/2	
		[工事中]				[看板なし]	2階	レストラン
19	56	[工事中]			58	[空き]	1/2	[不明]
		[なし]			64	KINKEY RESTAURANT	空地	食堂
21	63	SAVITRI General Shop	1/4	ゼネラルショッブ	70	Phul Mava General Shop	1/4	ゼネラルショッブ
	64	[看板なし]	1/4	パンショッブ	71	Lachi Maya General Shop	1/4	ゼネラルショッブ
	65	MEENA GENERAL SHOP	1/4	ゼネラルショッブ	72	[空き]	1/4	
28	84	KINLEY DORJI GENERAL STORE	1/2	ゼネラルショッブ	91	DRUK HANDICRAFT GIFT CENTER	1/4	みやげ物店
					92	UGEN WANGCHUK'S TAILOR SHOP	1/4	仕立屋
29	87	STD/ISD METASCAN	空地	電話屋	95	M/s SITA COMMUNICATION	空地	電話屋
	88	DRUK HANDICRAFT GIFT CENTER	1/4	みやげ物店	96	PHUENSOOM TSHONGKHANG	1/4	ゼネラルショッブ
	89	PHUENSOOM TSHONGKHANG	1/4	ゼネラルショッブ	97	[看板なし]	1/4	仕立屋
33	90	BHUTAN DEKHANG STORES	1/2	ゼネラルショッブ	109	[空き]	1/2	



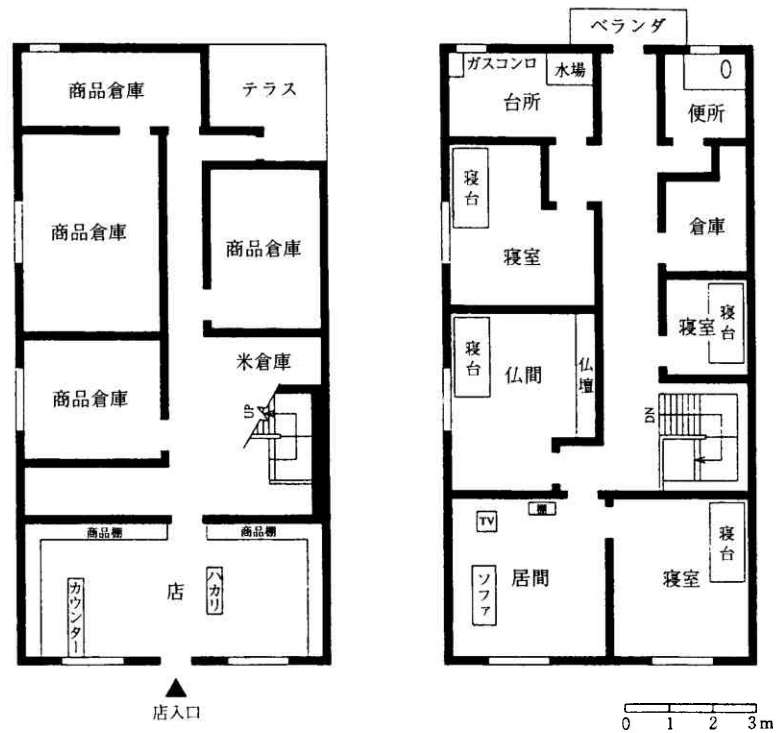
(写真9) 間取りを調査したゼネラルショッブ
(建物番号25)。1階が店舗、2階が
住居となっている。

m²、延べ床面積は約237m²である。このうち1階店舗部分の内寸は、幅7050mm、奥行き3580mmで、面積約25.2m²である(写真10)。店の奥には商品倉庫が4室あるが、各倉庫内部には棚が設けられ、商品が整然とストックされている。また階段奥は米倉庫になっている(写真11)。一方、2階は居住区域になっており、急な内部階段を登って上がる。道路に面して居間と寝室がある。その奥に仏間(写真12)と寝室(写真13)があるが、仏間はプータンの農家と同様に非常に立派な造りであり、仏壇には国王やダライラマの写真が飾られている。また仏間は、老人の寝室としても使用されている。しかし隣家が近接して

(表4) Wandi氏へのインタビュー

店の名前: PARO CANTEN 店の種類: ゼネラルショッブ 店の規模: 1/2サイズ
氏名: Wandi氏(男性) 家族: 6名

商売は何年になるのか?	25、6年商売をやっている。パロでは12年だが、その前はティンブーで商売をやっていた。
店は自分のものか?	土地と建物は借りており、家主は別の所に住んでいる。自分の家族は2階に住んでいる。
何種類くらいの商品があるか?	食品、化粧品を中心に140種類程度を扱っている。
1年間で何商品を取り替えるのか?	野菜を除いて、1年中扱う商品は変わらない。
商品はどこで仕入れるのか?	月に2回、フンツォリンまで行って商品を仕入れる。仕入れた商品は、店の奥の倉庫にストックしておく。
固定客はいるのか?	だいたい50人から60人程度いる。
遠くから来る客もいるのか?	うちの客はパロ周辺の人が多く、そんなに遠い客はいない。他の店には、かなり遠くから来る客もいる。
支払方法は?	現金商売がほとんどで、物々交換はしていない。なじみ客はツグで買い物をする。
昔と比べて変わったことは?	いろいろと大きく変わったが、一番大きく変わったのは、店の数が増えて競争が激しくなったということ。なじみ客よりも一見の客が増え、安い店に流れるようになったので、他の店の価格が上がる。他の店の価格をいつも調べるようにしなくてはならない。
将来の見通しは?	建物が古くなったので、家主が建て替えるかもしれない。その場合は、鉄筋コンクリート造になるだろう。他の建物も順次、建て替えてゆくと思う。また政府が新しい都市計画を考えており、将来は店の種類別に分けて、商店街を再編成するという話も聞く。



(図7) ゼネラルショップ(建物25、店番号79)の間取り。



(写真10) 店の内部とご主人のWandi氏。



(写真11) 店の奥は倉庫になっており、商品が整然とストックされている。



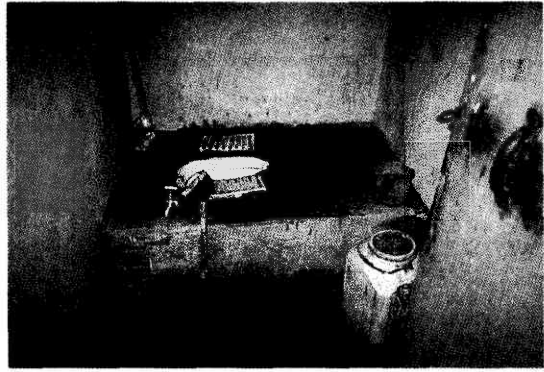
(写真12) 寝室に窓はあるが、隣家と近接しているため、昼間でも薄暗い。



(写真13) 仏間は立派な造りで、この家の老人の寝室にもなっている。



(写真14) 台所。プロパンガスコンロや電気釜が使用されている。



(写真15) 便所

建てられているため、仏間と寝室にはほとんど光が入らず、室内は昼間でも薄暗い。道路の反対側の面は、台所（写真14）と便所（写真15）になっている。台所ではプロパンガスのコンロを使用しているが、炊事用の水は汲み置きである。

4. まとめ

1999年と2000年の2回にわたってブータン西部の町、パロの商店街の調査を行った。その結果、1999年には34棟の商店建築の1階に101の商店があったが、その数は2000年には108と増加していた。しかし1年間で16店舗が入れ替わるか廃業していた。

商店街を構成する店舗の種類は、全商店の約半数がゼネラルショップと呼ばれる「よろず屋」であり、専門店是非常に少ないことがわかった。ゼネラルショップの取り扱い商品は、米穀、食料品、日用品、電気製品など多岐に渡るが、店舗の規模、商品の種類や量には差がある。商店の規模は、建物の1/2あるいは1/4を使用しているものが多く、道路に面した店では、客が窓越しに品定めをしたり、店員と言葉を交わしたりするのがブータン流のショッピングスタイルといえる。その一方で、ショッピングコンプレックスという新しい形式の店舗も出現している。ショッピングコンプレックスは、建物内部を貸店舗用に仕切ったもので、通路に面して小面積の店舗を数多く入居させることができる。このような店舗は賃貸料が安いため、借り手、特に商売を新しく始めようとする人にとってはリスクが少なく、家主にとっても借り手を見つかりやすいといったメリットがあると思われる。

また商店建築は、ブータンの伝統様式である版築工法によって作られた2階建て建築が多く、従来、1階が店舗、2階が住居という職住一致型であった。しかし改築された建物はすべて鉄筋コンクリート造であり、1階のみならず上階も店舗に利用されている。2000年現在では鉄筋コンクリート造の建物はまだ少ないが、高層化によって上階を商業スペースとして利用可能なことから、今後、家主が賃貸しによる収入増を見込んで鉄筋コンクリート造への建て替えを進めてゆくものと思われる。

1999年にはパロ空港が改装され、また国王即位25周年を記念した認可によって、外国人のブータン国内の観光を扱うツアー会社が33社から79社に増加した。ブータン唯一の空港があるパロは、このようなツアー会社にとって重要な拠点であり、パロの中心部にオフィスを構えようとする会社も出現するだろう。さらにテレビ放送やインターネットなどの情報分野における近代化により、ブータンの人々のライフスタイルも急激に変化してゆくであろう。このような変化に対し、人々の消費生活を支えるとともに交流や集いの場としての一面も持ち合わせるパロの商店街が、今後どのように変化するのか興味を持たれる。

注

- 注1) カシやツバキのような葉の表面がつやつやした樹木を照葉樹とよぶ。このような樹木の森林（照葉樹林）が、ネパール、ブータン、シッキム、インド・アッサム地方、中国・雲南、日本にかけて帯のように広がっていた。そしてこの地域では、照葉樹林の自然の恵みをベースにした農耕文化が発展した。日本とブータンは、この帯の東と西に位置しており、米、蕎麦、麴、茶といった食物、漆器、竹細工、絹などの工芸に照葉樹林文化としての共通点がみられる。
- 注2) ブータンとチベットとは、ヒマラヤを越えて米と塩（岩塩）を交換する交易が行われてきたという。
- 注3) 小方全弘著「ブータン素描」（芙蓉書房）p.p.112に「洪水に襲われたパロのパザール」とキャプションがある写真が掲載されている。この写真は1968年に小松氏がブータンを訪問した際に撮影したものであるが、写真のチョルテン（注4参照）や背後の山の位置から、当時のパザールが現在と同じ場所であったと判断できる。
- 注4) 仏塔のこと。ブータンでは、四角い家型のブータン式、上部が丸いチベット式および目が描かれたネパール式のチョルテンがみられる。
- 注5) ブータン各町では、毎週、週末になると定期的に市が開かれる。市が開かれる場所は決まっており、コンクリートの床と簡単な屋根が設けられている。市では野菜類が中心に扱われるが、他に肉、乳製品、工芸品、仏具などが売られている。
- 注6) ブータンの伝統的な民家は、まず板枠の中に土を詰め込んで突き固める「版築工法」によって1階の厚い壁を作った後、梁材を架けて天井を作る。農家の1階は、家畜小屋として使用されることもある。人間の居室として使用される2階は、背面を版築工法、窓が設けられる前面を真壁工法によって作られることが多い。屋根は束で持ち上げられており、2階天井との間には解放された空間がある。農家ではこの空間に干し草などを貯蔵する。屋根は木板のシングル葺きが一般的であるが、近年はトタン葺きに代わりつつある。また木造部分や壁面には、精密な極彩色のペイントが施されている。特にパロにはガルーダ（想像上の神鳥）、黄金の魚などの仏教の吉祥紋、ドルジ（男根）などのモチーフを壁に描いている農家も多い。
- 注7) 男根と剣をクロスされた飾りで、ブータン民家の軒下によくぶら下げられている。ポーはその家を災いから守るための魔よけである。
- 注8) ブータン民家の屋根の棟に立てられた旗。やはり魔よけの一種である。
- 注9) 山羊やヤクの頭蓋骨も魔よけとして民家の入口に飾られている。
- 注10) 店名にTSHONGKHANGという単語が多くみられるが、これはゾンカ語（ブータンの標準言語）でSHOPを意味する語である。

注11) 店舗1は、建物1の1階すべてを使用している。したがって建物1は他の建物に比べて小さいが、店舗1の間口は商店街の中で最も広いものである。

注12) 「パン」とは、ヒンディー語で「ドマ」のことである。ドマはビンロウジュの実と石灰をキンマの葉で包んだものを口の中にかみ砕いて刺激的な味を楽しむ嗜好品で、インドやネパール、ブータンで愛好されている。ブータンの路上には、ドマを噛んで吐き出された赤い唾液の染みがあちこちにみられる。

【参考文献】

文1) 「ブータン王国データファイル」、地理、Vol.37、No.10、 pp.27 (1993)

文2) 中尾佐助；「栽培植物と農耕の起源」(岩波新書)、pp.60 (1966)

文3) 上山春平；「照葉樹林文化 日本文化の深層」(中公新書)、pp.44 (1969)

文4) Statistical Yearbook Of Bhutan 1988、ブータン王国計画委員会 (1988)

文5) Coelho, V. H.、三田幸夫、内山正熊訳；「シッキムとブータン」(集英社)、 pp.179 (1979)